

株主・投資家のみなさまへ

## 第34期 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



 **イズミ産業株式会社**  
**JASDAQ**  
証券コード2924



株主の皆様方には、ますますのご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、第34期の営業の概況をご報告するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

一昨年、昨年と2年連続で鳥インフルエンザが国内で発生したため、鶏卵相場の動向が大変予測しにくい状況となり、需給調整機能が思うように発揮できず、また、減損会計の適用もあり、業績は厳しいものとなりました。

今後は、お取引先の更なる拡大とその信頼関係の強化を図り、また、需給調機能フルに発揮し原料調達コストを低減し、業績の向上に邁進してまいります。

株主の皆様におかれましても、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

代表取締役社長 藤井 徳夫

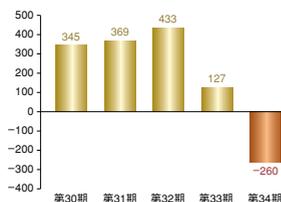
## 売上高（単位：百万円）



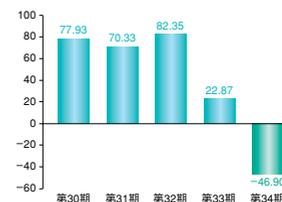
## 経常利益（単位：百万円）



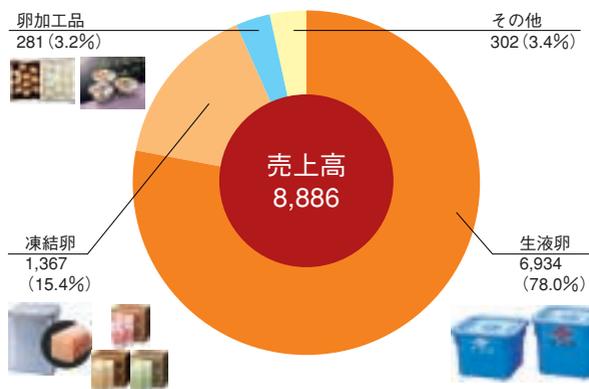
## 当期純利益（単位：百万円）



## 一株当たり当期純利益（単位：円）



## 売上構成（単位：百万円）



## 経営成績

当期におけるわが国経済は、引き続き好調な企業業績に支えられ、設備投資の増加が進むとともに、企業部門の好調さが雇用・所得環境の改善に寄与し、個人消費も緩やかに増加するなど、景気は回復基調で推移しました。

食品業界におきましては、米国のBSE（狂牛病）に関連する牛肉輸入停止問題や、鳥インフルエンザの発生等による消費者の「食の安全・安心」に対する要求が一段と高まる中、残留農薬を規制するポジティブリスト制度が導入されるなど、これまで以上に「食の安全・安心」が求められるようになってきております。

このような状況の中、鶏卵業界におきましては、平成16年1～3月にかけて79年ぶりに国内で発生した鳥インフルエンザがようやく沈静化するかと思われましたが、平成17年6月に茨城県で再発生し、当該国内有数の生産地での発生は、鶏卵の消費動向にも影響を与え、雛の餌付け羽数の増加や鶏卵の輸入増の影響と相俟って、7月以降の鶏卵市況は低迷いたしました。

平成17年度の鶏卵相場（JA全農たまごM基準値）は、上半期（4～9月）の平均は前期比で14.7%（24円）高く推移しましたが、下半期（10～3月）の平均は前期比25.3%（62円）低く推移しました。通期（4～3月）で見ると、前期比9.4%（19円）低く推移しました。

このような業界環境の中、当期の液卵販売量は、粉末卵への一部需要シフト等により既存得意先への販売は減少したものの、積極的な営業活動による新規得意先への販売数量の大幅な増加が功を奏し、前期比1.7%の増加となりましたが、液卵の売上高につきましては、前述のように鶏卵相場の低迷により販売単価が下落し、前期比2.4%減の8,301百万円となりました。

加工品売上高については、既存得意先へのゆで卵の販売が好調だったこともあり売上高は前期比6.5%増の281百万円となりました。その他売上高は、鶏卵販売の増加により前期比64.2%増の302百万円となりました。

以上の結果、当期の合計売上高は前期比0.8%減の8,886百万円となりました。

損益面におきましては、前期に国内需給逼迫により鶏卵相場が高騰したことを受けて、海外からの原料調達を行いました。また、前述のように鶏卵相場が低く推移したため、契約していた外国産の原料が国内産の原料よりも割高なものとなってしまう、当社が期待した原料コスト削減効果が発揮できず、経常利益は前期比29.9%増の165百万円にとどまりました。また「固定資産の減損に係る会計基準」の適用による旧関西事業部の土地及び建物の減損損失（特別損失）389百万円など、特別損失を447百万円計上したことに伴い、当期純損益は260百万円の損失となりました。

## 今後の見通しと対処すべき課題

今後の経済見通しといたしましては、消費および設備投資は引き続き増加し、民間需要中心の緩やかな回復が見込まれるものの、原油価格の動向や世界経済の減速懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続くものと思われれます。鶏卵業界におきましては、国内で2年続いた鳥インフルエンザの再発の懸念はあるものの、鶏卵市況は概ね正常化していくものと思われれます。当社としては、今年度の鶏卵相場は、年間平均では昨年を下回る水準になるのではないかと予想しております。

こうした状況の中、当社におきましては、営業面では昨年度獲得できなかった新規のお取引先を積極的に開拓し、また、既存のお取引先に対しても当社の品質に対する取り組みや安定供給を図る体制についての取り組みを説明し、取引の拡大を図ってまいります。

製造面では生産データの分析や工程管理の強化により万全の品質を維持するとともに、お客様のニーズに即応できる生産体制を整えたいと考えております。また、品質保証体制を確立し、常にお客様へより安全・安心な製品を提供すべくより一層努力してまいります。

購買面につきましては、新規の仕入先を積極的に開拓するほか、この2年間発揮できなかった当社の購買政策である需給調整機能を発揮し、原料コスト削減に努めます。

また、新たな市場を開拓するため、研究開発面におきましては、公的研究機関や大学とも連携して、新商品の開発や応用研究に取り組むとともに、卵殻や卵殻膜の再利用をはじめとする、リサイクル研究を進め、業界競争力の強化と事業の育成を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 貸借対照表

## 比較貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目             | 当 期<br>(平成18年3月31日現在) | 前 期<br>(平成17年3月31日現在) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                       |                       |
| <b>流 動 資 産</b>  | <b>2,429,392</b>      | <b>2,083,276</b>      |
| 現金及び預金          | 588,745               | 373,298               |
| 受取手形            | 125,502               | 98,009                |
| 売掛金             | 1,034,406             | 1,233,638             |
| 商売品             | 21,631                | 28,639                |
| 製材品             | 424,954               | 128,141               |
| 原材料             | 192,643               | 66,431                |
| 仕掛品             | 14,358                | 21,064                |
| 貯蔵品             | 15,977                | 16,737                |
| 前払費用            | 10,352                | 10,635                |
| 未収消費税等          | 6,679                 | —                     |
| 未収法人税等          | —                     | 107,762               |
| 繰延税金資産          | 12,000                | 5,400                 |
| その他流動資産         | 1,139                 | 11,817                |
| 貸倒引当金           | △19,000               | △18,300               |
| <b>固 定 資 産</b>  | <b>4,288,008</b>      | <b>5,024,598</b>      |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>3,902,197</b>      | <b>4,640,199</b>      |
| 建物              | 1,608,480             | 1,798,713             |
| 機械及び装置          | 541,904               | 672,105               |
| 車両運搬具           | 8,857                 | 11,006                |
| 工具器具備品          | 25,967                | 31,126                |
| 土地              | 1,716,987             | 2,112,247             |
| 建設仮勘定           | —                     | 15,000                |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>31,907</b>         | <b>41,816</b>         |
| ソフトウェア          | 28,746                | 38,643                |
| 電話加入権           | 3,085                 | 3,085                 |
| その他無形固定資産       | 74                    | 86                    |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>353,903</b>        | <b>342,582</b>        |
| 投資有価証券          | 83,256                | 112,310               |
| 関係会社株式          | 117,554               | 117,554               |
| 出資              | 200                   | 200                   |
| 従業員長期貸付金        | —                     | 70                    |
| 破産更生債権等         | 3,183                 | 3,877                 |
| 長期未収入金          | 2,606                 | 6,364                 |
| 差入保証金           | 12,629                | 11,634                |
| 長期前払費用          | 4,893                 | 1,259                 |
| 繰延税金資産          | 124,626               | 85,623                |
| その他投資           | 13,511                | 14,389                |
| 貸倒引当金           | △8,558                | △10,700               |
| <b>資 産 合 計</b>  | <b>6,717,400</b>      | <b>7,107,874</b>      |

### POINT

#### ■流動資産

短期借入金増加により現金及び預金が増加  
前期の在庫が少なかったことや、原料の入荷により凍結卵の製造を行ったことによりたな卸資産が増加

#### ■固定資産

減損損失の計上（土地、建物）や減価償却等により減少

(単位：千円)

| 科 目                      | 当 期<br>(平成18年3月31日現在) | 前 期<br>(平成17年3月31日現在) |
|--------------------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>(負債の部)</b>            |                       |                       |
| <b>流 動 負 債</b>           | <b>1,916,221</b>      | <b>1,728,560</b>      |
| 買掛金                      | 287,505               | 484,090               |
| 短期借入金                    | 1,303,501             | 1,001,760             |
| 未払金                      | 438                   | 1,805                 |
| 未払法人税等                   | 84,643                | —                     |
| 未払消費税等                   | —                     | 40,508                |
| 未払費用                     | 204,942               | 162,051               |
| 預り金                      | 6,536                 | 5,187                 |
| 賞与引当金                    | 28,000                | 30,000                |
| その他流動負債                  | 654                   | 3,157                 |
| <b>固 定 負 債</b>           | <b>2,503,564</b>      | <b>2,770,565</b>      |
| 長期借入金                    | 2,158,341             | 2,461,842             |
| 役員退職慰勞引当金                | 320,871               | 284,371               |
| その他固定負債                  | 24,352                | 24,352                |
| <b>負 債 合 計</b>           | <b>4,419,786</b>      | <b>4,499,125</b>      |
| <b>(資本の部)</b>            |                       |                       |
| <b>資 本 金</b>             | <b>455,850</b>        | <b>455,850</b>        |
| <b>資 本 剰 余 金</b>         | <b>366,322</b>        | <b>366,322</b>        |
| 資本剰余金                    | 366,322               | 366,322               |
| <b>利 益 剰 余 金</b>         | <b>1,466,262</b>      | <b>1,782,457</b>      |
| 利益準備金                    | 40,200                | 40,200                |
| 任意積立金                    | 1,593,944             | 1,475,000             |
| 固定資産圧縮積立金                | 68,944                | —                     |
| 別途積立金                    | 1,525,000             | 1,475,000             |
| 当期末処分利益または<br>当期末処理損失(△) | △167,882              | 267,257               |
| その他有価証券評価差額金             | 13,317                | 7,884                 |
| <b>自 己 株 式</b>           | <b>△4,137</b>         | <b>△3,764</b>         |
| <b>資 本 合 計</b>           | <b>2,297,613</b>      | <b>2,608,748</b>      |
| <b>負 債 及 び 資 本 合 計</b>   | <b>6,717,400</b>      | <b>7,107,874</b>      |

### POINT

#### ■流動負債

鶏卵相場が下落し仕入単価が低下したことにより買掛金が増加  
運転資金調達のため短期借入金が増加

#### ■固定負債

返済が進んだため長期借入金が増加

#### ■利益剰余金

当期純損失を計上したことや配当金の支払等により利益剰余金が減少

## 比較損益計算書 (要約)

(単位：千円)

| 科 目                                    | 当 期<br>(平成17年4月1日~<br>平成18年3月31日) | 前 期<br>(平成16年4月1日~<br>平成17年3月31日) |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 売 上 高                                  | 8,886,460                         | 8,956,475                         |
| 売 上 原 価                                | 7,496,888                         | 7,651,524                         |
| <b>売 上 総 利 益</b>                       | <b>1,389,571</b>                  | <b>1,304,950</b>                  |
| 販売費及び一般管理費                             | 1,217,133                         | 1,169,968                         |
| <b>営 業 利 益</b>                         | <b>172,438</b>                    | <b>134,981</b>                    |
| 営業外収益                                  | 30,297                            | 35,168                            |
| 営業外費用                                  | 37,465                            | 42,922                            |
| <b>経 常 利 益</b>                         | <b>165,269</b>                    | <b>127,227</b>                    |
| 特別利益                                   | 60,310                            | 139,322                           |
| 特別損失                                   | 447,876                           | 31,098                            |
| <b>税引前当期純利益<br/>または税引前当期純損失(△)</b>     | <b>△222,295</b>                   | <b>235,451</b>                    |
| 法人税、住民税及び事業税                           | 80,726                            | 42,167                            |
| 法人税等調整額                                | △42,400                           | 66,200                            |
| <b>当 期 純 利 益<br/>または当期純損失(△)</b>       | <b>△260,622</b>                   | <b>127,084</b>                    |
| 前期繰越利益                                 | 92,739                            | 140,172                           |
| <b>当 期 未 処 分 利 益<br/>または当期末処理損失(△)</b> | <b>△167,882</b>                   | <b>267,257</b>                    |

### POINT

- 売上高  
販売量は伸びたものの、鶏卵相場が下落し販売単価が低下したことにより売上高は減少
- 売上原価  
鶏卵相場の下落による材料費の減少や減価償却費の減少
- 特別損失  
旧関西事業部の減損損失(土地、建物)389百万円の計上

## キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位：千円)

| 科 目              | 当 期<br>(平成17年4月1日~<br>平成18年3月31日) | 前 期<br>(平成16年4月1日~<br>平成17年3月31日) |
|------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 213,837                           | 127,947                           |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 59,340                            | △464,728                          |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △57,730                           | △106,598                          |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 215,446                           | △443,379                          |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 295,798                           | 739,177                           |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 511,245                           | 295,798                           |

### キャッシュ・フローの状況

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前期に比べ85百万円増の213百万円となりました。税引前当期純損失222百万円の計上やたな卸資産の増加408百万円、仕入債務の減少196百万円等による資金の減少はありましたが、減損損失389百万円や減価償却費370百万円、売上債権の減少172百万円等の資金の増加要因がこれを上回ったためであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、前期に比べ524百万円増の59百万円となりました。その主な内訳は、有価証券の売却収入40百万円や有形固定資産の売却による収入53百万円等による資金の増加、有形固定資産の取得65百万円等による資金の減少であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用された資金は、前期に比べ48百万円減少し57百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金金の増加400百万円、長期借入金金の減少401百万円及び配当金の支払55百万円であります。

(単位：千円)

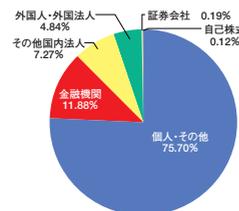
| 科目            | 金額            |         |
|---------------|---------------|---------|
| 当期末処理損失       | 167,882       |         |
| 任意積立金取崩額      |               |         |
| 固定資産圧縮積立金取崩額  | 10,213        |         |
| 別途積立金取崩額      | 250,000       | 260,213 |
| <b>合計</b>     | <b>92,331</b> |         |
| 利益処分額         |               |         |
| 配当金(1株につき10円) | 55,567        |         |
| 任意積立金         |               |         |
| 固定資産圧縮積立金     | 1,724         | 57,292  |
| <b>次期繰越利益</b> | <b>35,038</b> |         |

※固定資産圧縮積立金、固定資産圧縮積立金取崩額は、租税特別措置法に基づくものです。

- 会社が発行する株式の総数 16,792,000株
- 発行済株式の総数 5,563,580株
- 株主数 1,901名
- 大株主(上位10名)

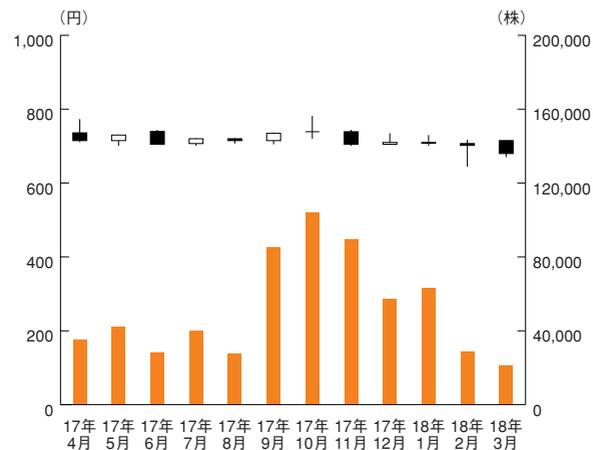
| 株主名   | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|---|-----------|---------|
| 藤井徳夫  | 1,273,650 | 22.89   |
| 藤井宗徳  | 662,240   | 11.90   |
| 藤井泰子  | 569,910   | 10.24   |
| 藤井智徳  | 287,140   | 5.16    |
| 宇高紫乃  | 275,040   | 4.94    |
| 株式会社福岡銀行  | 229,900   | 4.13    |
| エイチエスピーシーバンクビーエルシーアカウント<br>アトランティス ジャパン グロース ファンド | 200,970   | 3.61    |
| 株式会社みずほ銀行   | 125,400   | 2.25    |
| 中央三井信託銀行株式会社                                      | 96,800    | 1.73    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)                           | 89,900    | 1.61    |

## ■所有者別分布状況



| 所有者区分    | 持株数(株)    | 比率(%) |
|----------|-----------|-------|
| 個人・その他   | 4,211,730 | 75.70 |
| 金融機関     | 661,100   | 11.88 |
| その他国内法人  | 404,250   | 7.27  |
| 外国人・外国法人 | 269,060   | 4.84  |
| 証券会社     | 10,650    | 0.19  |
| 自己株式     | 6,790     | 0.12  |

## ■株価及び株式出来高の推移



|       |   |
|-------|---|
| 商号    | イフジ産業株式会社<br>(英訳名：Ifuji Sangyo Co., Ltd.)   |
| 設立年月日 | 昭和47年10月3日  |
| 資本金   | 4億5,585万円   |
| 本社所在地 | 〒811-2312<br>福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原200-1<br>TEL092-938-4561 (代)  |
| 従業員数  | 85名 (臨時従業員は除く。)   |
| 事業所   | 福岡事業部 福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原200-1<br>関西事業部 京都府綴喜郡井手町大字井手小字合藪3-1<br>関東事業部 茨城県水戸市酒門町4476-17<br>名古屋事業部 愛知県安城市二本木新町1-8-7 |



■本社・福岡事業部



■関東事業部



■関西事業部



■名古屋事業部

|         |        |
|---------|--------|
| 代表取締役社長 | 藤井 徳夫  |
| 常務取締役   | 仁田坂 功  |
| 常務取締役   | 池田 賢次郎 |
| 取締役     | 田中 一彦  |
| 取締役     | 坂本 勇   |
| 取締役     | 山村 正幸  |
| 常勤監査役   | 具島 輝幸  |
| 監査役     | 財部 忠夫  |
| 監査役     | 酒井 善浩  |

## ■主要な事業内容

当社は鶏卵をあらかじめ割卵し、「液卵」「凍結卵」へ製造加工し、主にパンメーカーや菓子メーカー、惣菜メーカー等に販売しております。また、茶碗蒸しベース、ゆで卵の製造販売、卵加工品の仕入販売等も行っております。

「液卵」…鶏卵から卵殻を除いたものであり、形状が液体であることから液卵と称されております。

## ■液卵の利便性（メリット）

- ①作業効率…割卵の手間が省け効率的・衛生的です。
- ②品質の安定性…バラツキが少なく製品の均質化が図れます。
- ③経済性…鶏卵相場による価格変動に伴って起こる原料費率の不安定さを抑えることができます。
- ④貯蔵性…凍結状態であれば1～2年の保管も可能です。
- ⑤作業環境…殻付卵に比べ容積が1/3程度なので、保管スペースが小さくて済みます。また、卵殻の発生がないため作業環境がよくなります。

## ■商品ラインアップ

### ■液卵・冷凍卵



### ■凍結卵ミニパック



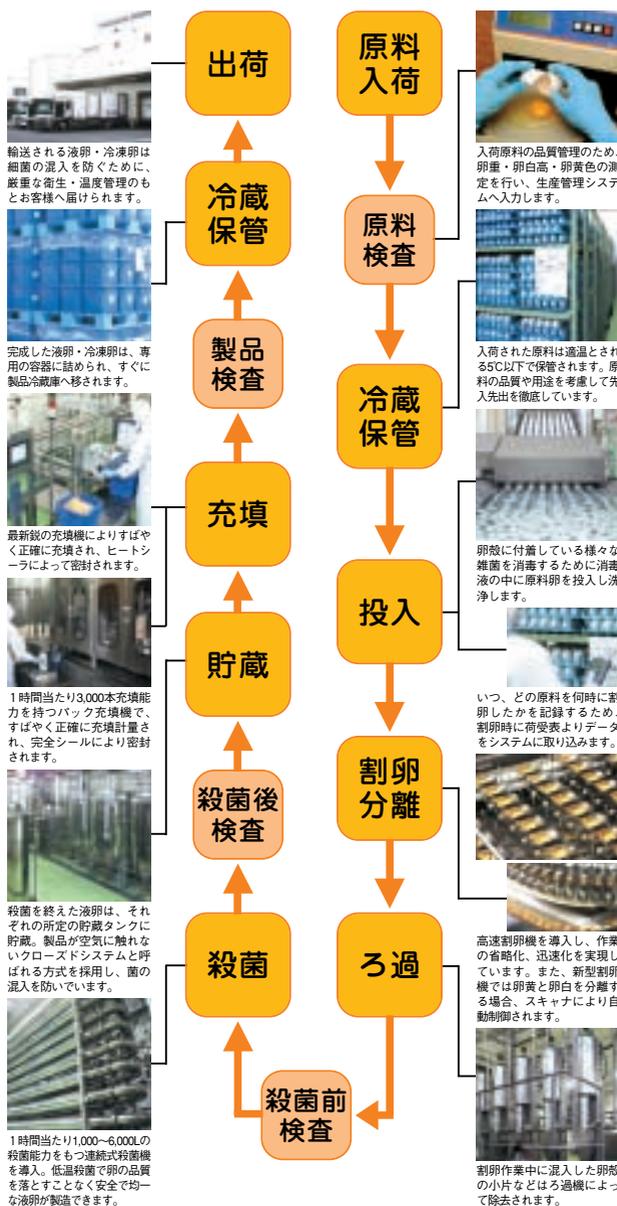
### ■茶碗蒸しベース



## ■液卵・冷凍卵の種類と用途

| 品 種 | 種 別   | 殺菌の有無  | 生・凍結 | 主 な 用 途                 |
|-----|-------|--------|------|-------------------------|
| 全 卵 | ホール   | 未殺菌    | 生    | ケーキ、シュークリーム、パン、洋菓子、和菓子  |
|     | 全卵    | 殺菌・未殺菌 | 生・凍結 | パン、ビスケット、玉子焼、玉子とうふ、茶碗蒸し |
|     | 加糖全卵  | 殺菌     | 生・凍結 | ケーキ、洋菓子                 |
|     | 調整全卵  | 殺菌     | 生・凍結 | パン、ビスケット、クッキー           |
| 卵 黄 | 卵黄    | 殺菌・未殺菌 | 生    | 洋菓子、和菓子                 |
|     | 加糖卵黄  | 殺菌     | 生・凍結 | 洋菓子、和菓子                 |
|     | 加塩卵黄  | 殺菌     | 凍結   | マヨネーズ                   |
| 卵 白 | 卵白    | 殺菌・未殺菌 | 生・凍結 | 練製品、洋菓子、和菓子             |
|     | 製菓用卵白 | 未殺菌    | 生・凍結 | 洋菓子、和菓子                 |

## ■液卵・冷凍卵の生産工程（入荷から出荷まで）



## 株主メモ

|         |  |
|---------|--|
| 決 算 期   | 3月31日  |
| 定時株主総会  | 毎年6月   |
| 1単元の株式数 | 100株   |
| 基 準 日   | 定時株主総会関係／3月31日<br>利益配当金支払株主確定関係／3月31日<br>なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は9月30日といたします。       |
| 公告掲載方法  | 日本経済新聞   |
| 株主名簿管理人 | 東京都港区芝三丁目33番1号<br>(〒105-8574)<br>中央三井信託銀行株式会社                                    |
| 同事務取扱所  | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>(〒168-0063)<br>中央三井信託銀行株式会社証券代行部<br>電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) |
| 同 取 次 所 | 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店<br>日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店                                       |

## お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)  
ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 株主ご優待について

|         |   |
|---------|---|
| 贈 呈 基 準 | 毎年3月31日現在の株主及び実質株主に対し、全国たまご商業協同組合が発行する「たまごギフト券」を年1回、以下の基準により贈呈いたします。<br>株式数100株以上1,000株未満<br>一律500円(100円券×5枚)<br>株式数1,000株以上<br>一律2,000円(100円券×20枚) |
| 利 用 方 法 | 全国の主な百貨店及びスーパー等で卵の購入の際利用できます。   |
| 有 効 期 限 | 発行日から5年   |
| 取 扱 店 舗 | 全国の主な百貨店及びスーパー等(詳しくは同封する書類に記載)  |



# イフジ産業株式会社

福岡県粕屋郡粕屋町大字戸原200-1 〒811-2312

TEL 092-938-4561 (代) FAX 092-938-5537

URL <http://www.ifuji.co.jp>